健　診　ガイド

（令和７年度）

都立学校教職員の一般健康診断等

一般健康診断は、学校保健安全法、労働安全衛生法等に基づく健康診断で、年に１回の受診が義務付けられています。また、自分の健康状態を確認する機会でもあります。必ず受診し、結果を健康管理に役立てましょう。一般健康診断は、原則として巡回健診で受診してください。来院健診は、やむを得ない事由により巡回健診を受診できない教職員を対象とします。

健康診断の目的の一つは、病気の早期発見・早期治療です。第１次健診の結果、「要２次健診」または「要医療」の判定が出た場合には、医療機関を速やかに受診しましょう。

**１　一般健康診断**

**【第１次健診】**

**※対象者年齢の「当該年度末現在」には、翌年度４月１日に当該年齢の誕生日を迎える者を含みます。**

**※休暇・休職中の方は健康診断を受診することはできません。一般健康診断実施期間内に受診できなかった場合**

**は、復職後健康診断（別途通知）を受診してください。**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 健診の種類 | | 対　　　　象　　　　者 | | 実　施　方　法 |
| 呼吸器系健診 | 胸部エックス線撮影 | ・全職員  ただし昨年度の健診で「次年度直接第２次健診」と指示された職員は除く。 | | ※健診機関が学校を巡回して実施。  巡回健診日に受診できない場合は来院健診の実施期間内に巡回を担当している健診機関及び来院健診専門の健診機関に出向いて受けることができる。この際、事前に健診機関に電話で予約すること。  【来院時持参するもの】  ①「一般健康診断問診票」  ②便潜血反応・喀痰細胞診の検体（対象者のみ）  【実施時期】  （巡回）７月１日(火)～１１月２８日(金)  （来院）７月１６日(水)～翌年１月１５日(木)  来院予約受付期間  ６月２５日(水)～１２月２６日(金)  　巡回・来院ともに**平日**の実施となります。  注1：同じ健診機関であれば、他校での受診も可能（勤務校と担当健診機関が異なる場合は受診できないので注意すること）。その際、副校長等を通じて実施日時を電話で確認すること。  注2：昨年度の健診で「次年度直接第２次健診」と指示された職員は､健診当日受付に申し出ること。別途、担当している健診機関に受診者本人が直接電話で申し込み、健診機関へ出向いて、第２次健診から受ける。 |
| 喀痰細胞診  検査 | 1. 50歳以上で喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上で希望する職員 2. ６か月以内に血痰のあった職員 3. その他呼吸器症状を持ち希望する職員 | |
| 生活習慣病健診 | | ・全職員  心電図検査は当該年度末現在35歳及び40歳以上の職員と医師が必要と認める者を対象とする。 | |
| 消化器系健診 | 胃検査 | （当該年度末現在）  ・40歳以上の全職員  ※大腸検査については40歳未満で健診を希望する者を含む。 | 昨年度の健診で「次年度直接第２次健診」と指示された職員を除く。 |
| 大腸検査 |  |

＊受診者は呼吸器系健診、生活習慣病健診、消化器系健診を１回で終了すること。

**【第２次健診】**

第１次健診の結果、必要な職員及び前年度の結果により「直接第２次健診」と指示された職員に実施しています。ただし、治療中の方と第１次健診の結果で要医療の指示のあった方を除きます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 健診の種類･内容 | | 実　施　方　法 |
| 呼吸器系  健診 | 次のうち医師が必要と認める検査  胸部ｴｯｸｽ線直接撮影・喀痰検査・ＣＴ・聴打診・ＩＧＲＡ検査等 | 指定期間内（第１次健診終了後～２月末）に健診機関で実施する。 |
| 生活習慣病  健診 | 次のうち医師が必要と認める検査  循環機能検査:血液検査(Na･K･Cl･LDH)･胸部ｴｯｸｽ線直接撮影  心電図検査（対象外等で１次健診未実施の者）  腎機能検査:血液生化学検査（血清総蛋白･血清ｱﾙﾌﾞﾐﾝ・K･Cl）  糖尿病検査:血液検査(HbA1c)・眼底検査  貧血等検査:血液検査(血小板数･白血球血液像)  肝機能検査:血液生化学検査(血清総蛋白･血清蛋白分画  総ﾋﾞﾘﾙﾋﾞﾝ･LDH･ｱﾙｶﾘﾌｫｽﾌｧﾀｰｾﾞ) | 第２次健診は第１次健診と同時に実施する（同一血液検体で２次項目を実施。循環機能検査の心電図は１次健診会場で実施）。同時に実施できない胸部ｴｯｸｽ線直接撮影・眼底検査は、後日指定期間内（第１次健診終了後～２月末）に健診機関で実施する。 |
| 消化器系  健診 | 次のうち医師が必要と認める検査  胃検査：胃内視鏡検査･組織診 | 指定期間内（第１次健診終了後～２月末）に健診機関で実施する。 |

＊第１次健診と同時に行われた第２次健診の結果は、別途「結果通知書」を送付します。

＊第２次健診として、健診機関での来院健診が必要な場合は、個別に通知します。予約や日程の変更が必要な場合は、

健診機関に連絡して日程の調整を行ってください。

＊胃内視鏡検査を受ける場合は、感染症の検査を実施することがあります。健診機関の指示に従ってください。

【採用時健康診断の対象となる方へ】

東京都に新規に採用された方を対象として、４月１４日から６月３０日までの期間で採用時健康診断を実施していますが、諸般の事情により予約が取りにくい状況が続いており、大変御迷惑をお掛けいたしました。

単独の採用時健康診断が未受診の方は、一般健康診断（巡回健診またはIMS Me-Lifeクリニック東京の来院健診）に採用時健康診断の検査項目を追加して御受診いただきますようお願いします。

巡回健診で受診する場合は、当日受付で一般健康診断と併せて採用時健康診断の検査項目（聴力検査・心電図）を追加して受診する旨を健診機関にお伝えください。なお、採用時健康診断の情報機器作業従事者健診は、巡回健診では実施しておりません。別途、電話予約の上、IMS Me-Lifeクリニック東京で受診してください。電話予約の際は、採用時健康診断の情報機器作業従事者健診のみ受診することをお伝えください。巡回健診と来院健診で同一の検査項目を重複して受診しないよう御注意ください。

巡回健診を受診できずに来院健診を受診する場合はIMS Me-Lifeクリニック東京で受診してください。事前予約の際に一般健康診断と併せて採用時健康診断の検査項目（聴力検査・心電図・情報機器作業従事者健診（配置前））を追加して受診する旨をお伝えください。

詳細は「採用時健診ガイド」を御参照ください。

　　一般健康診断受診時の注意と内容

【健康診断における感染症予防対策について】

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳（せき）エチケット」「換気」などが有効です。

健康診断の受診に際しましては、健診会場では、受診者、健診スタッフ相互の安全確保のため、マスクの着用を含めた感染対策への御協力をお願いします。具体的な感染予防の取り組みにつきましては、感染状況や健診機関により対応が異なります。不明点があれば、担当の健診機関にお問い合わせください。

なお、健診の受診にあたり発熱・咳などの症状がある場合は、事前にかかりつけ医へ相談してください。

【問診票について】

問診票は、事前に必要事項を入力または記入し、健診当日に受付へ提出してください。

一般健康診断の問診票は、都立学校教職員健康管理システム上で教職員御本人が問診票の項目に回答し、受診の際には印刷し、健診当日の体温及び体調不良の有無を記入してお持ちいただきます（６月下旬以降入力開始予定）。健康診断を受診する前に必ず入力及び印刷を済ませて、持参するようお願いします。

なお、TAIMSが配備されていない職員（非常勤職員等）は、従前どおり、紙の問診票を使用することができます。この場合は、TAIMS「都立学校教職員健康管理・安全衛生掲示板」の「健診様式集」に白紙の問診票が掲出されますので、所属の健康管理担当者（副校長等）から配布される紙の問診票を御使用ください。

**問診票のすべての設問に御回答ください。**なお、服薬・治療の有無や食事の摂取状況は結果判定の判断材料としますので、正確に回答してください。

業務歴とは・・過去に特殊な業務（化学物質の使用など）に従事した場合の業務内容及びその期間。過去の有害業務等が現在の健康状態に反映されることがあるため、一般健康診断では業務歴の調査を行うこととされています。

* 複数校で勤務する時間講師等の方は、本務校以外で健診を受診する場合でも問診票の所属記入欄には本務校を記載してください（本務校宛てに結果が通知されるため）。

■　教職員健康管理システム（電子問診票）アクセス方法 （TAIMSが配備されている職員）

【教員系職員】

TAIMS「業務ポータル」⇒「教員ポータル」⇒業務メニュー内「教職員健康管理システム（都立学校用）」をクリックします。

【行政系職員】

TAIMS「グループポータル」⇒「教育庁ポータル」⇒業務システム内「教職員健康管理システム（都立学校用）」をクリックします。

* **港・目黒・世田谷・江戸川区の都立学校に所属する方限定：健診機関専用の問診票の使用について**

上記区内の都立学校に所属する方の健診機関は、IMS Me-Lifeクリニック板橋専用の問診票を使用します（一般健康診断問診票（教職員健康管理システムの電子問診票）の入力作成及び記入は不要です。）。専用の問診票（健康診断受診票・問診票）は、健診日１週間前頃に担当健診機関から学校ごとに送付され、所属を通して配布されます。問診票が配布されていない場合は、所属校の健康管理担当者（副校長等）に御確認ください。

※来院専門健診機関で受診する場合は、取り扱いが異なります。IMS Me-Life クリニック東京・池袋は、健診機関専用のWeb問診票（一部は紙の問診票）、調布東山病院は、一般健康診断問診票（教職員健康管理システムの電子問診票等）を御使用ください。

**■　来院健診専門機関****IMS Me-Lifeクリニック東京・池袋限定：健診機関専用Web問診票の使用について**

IMS Me-Lifeクリニック東京・池袋の２機関では、専用のWeb問診票（一部は紙の問診票）を使用します（一般健康診断問診票（教職員健康管理システムの電子問診票）の入力作成及び記入は不要です。）。詳細は、健診機関から予約後に送付される「健康診断のご案内」を御確認ください。

【食事制限について】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 第１次健診 | 生活習慣病健診を受けるとき | 採血は空腹時に行います（原則食後１０時間以上あけること）。  水や白湯は飲んでも構いません。  ※やむを得ず食後１０時間未満に受診する場合でも食直後（食事開始から  ３.５時間未満）を避けて受診してください。 |
| 胃検査（胃部エックス線検査）を受けるとき | 前日の夕食は午後９時までに済ませてください。就寝前までは水や白湯は飲んで構いません。当日は飲食（ガム・あめも不可）・喫煙は避けてください。  ※夏場は脱水症状を避けるため、早朝であれば少量の水を飲んでいただいて結構です。  ※御不明な点は受診する健診機関にお問い合わせください。 |
| 第２次健診 | 検査内容により食事制限が必要な場合があります。健診機関の指示を御確認ください。 | |

【採血検査の実施について】

採血を安全に実施するため、次に該当する方は、採血時にお申し出ください。

・採血時または採血直後に気分が悪くなったり、冷や汗が出たり、気を失ったことがある方

・血液を固まりにくくする薬を服用している方

処方時の説明書に抗血小板薬（バファリン、アスピリンなど）、抗凝固剤（ワーファリン・プラザキサなど）

などの記載がある薬

・消毒液や医療用手袋（ラテックスなど）で、かゆみや発疹などのアレルギー症状をおこしたことがある方

・血液透析中の方

・乳房切除手術を受けた方

その他、御質問や不安な点があれば、当日の健診スタッフにお尋ねください。

【健診当日の薬の服用について】

血圧や脳血管障害、心臓の薬等は内服して構いませんが、主治医に御相談いただくことをお勧めします。

【妊娠中または妊娠の可能性のある方の受診について】

妊娠中又は妊娠の可能性のある方は、エックス線被爆の影響があるため、胸部エックス線検査及び胃部エックス線検査を受けることができません。必ず問診票の「妊娠中またはその可能性がある」の設問に正しく回答し、エックス線検査を受けることがないよう御注意ください。

【大腸検査における便の採取について】

受診日直近に原則２日間連続で採便し（やむを得ない場合は３日以内）、第１次健診当日に提出してください。なお、１本しか採取できない場合も検査は可能です。

（１）呼吸器系健診

|  |  |
| --- | --- |
| 検　査　項　目 | 検　　査　　の　　説　　明 |
| 胸部エックス線撮影 | 肺結核や肺がん等の有無をみる。 |
| 喀痰細胞診検査 | 肺がんを発見する。 |

＊**妊娠中及び妊娠の可能性のある女性職員は、胸部エックス線撮影****を受けることができません。**

＊喀痰細胞診検査の有所見者については、各自、早めに専門医を受診してください。

（２）生活習慣病健診判定基準値は健診結果とともに受診者本人に送付されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検　査　項　目 | | 検　　査　　の　　説　　明 |
| 問診・診察 | | 業務歴・既往歴・自覚症状の有無・視診・聴診など。 |
| Ｂ　Ｍ　Ｉ （Ｂｏｄｙ Ｍａｓｓ Ｉｎｄｅｘ） | | 肥満度を判定する簡便な指数。　BMI＝体重（ｋｇ）／身長（ｍ）×身長（ｍ） |
| 腹囲測定 | | 男性８５ｃｍ・女性９０ｃｍ以上の腹囲がある場合は、他の検査項目等とあわせて内臓脂肪型肥満（ﾒﾀﾎﾞﾘｯｸｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ）の診断基準となる。 |
| 血　　　圧 | | 高血圧の有無・程度などを調べる。心臓が縮んで勢いよく血液が押し出された時の圧を収縮期血圧、心臓が弛緩して元に戻ったときの圧を拡張期血圧という。 |
| 血　　　　　　　　　液 | 赤血球数・血色素量  ﾍﾏﾄｸﾘｯﾄ・白血球数 | 赤血球数・血色素（ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ）・ﾍﾏﾄｸﾘｯﾄは赤血球の状態を調べるもので、貧血等の程度がわかる。血色素は、赤血球に含まれ、体に酸素を運ぶ役目をしている。白血球は、炎症などの有無をみる。 |
| ＨｂＡ１ｃ（NGSP値） | 赤血球の中に含まれるﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝにﾌﾞﾄﾞｳ糖が結合したもので、過去１、２か月程度の平均的な血糖状態が分かる。 |
| GOT（AST）・GPT（ALT）・γ-GTP | 肝臓の機能をみる。γ-ＧＴＰはｱﾙｺｰﾙに敏感に反応するので一般にｱﾙｺｰﾙによる肝臓障害の指標となる。 |
| 総ｺﾚｽﾃﾛｰﾙ・LDLｺﾚｽﾃﾛｰﾙ・HDLｺﾚｽﾃﾛｰﾙ・中性脂肪 | 動脈硬化などをおこす脂質異常症の有無をみる。  HDLｺﾚｽﾃﾛｰﾙは、血管の中の掃除をして動脈硬化を防ぐ働きをする。 |
| 血　　糖 | 糖尿病の有無をみる。 |
| 尿　　酸 | 痛風等のリスクをみる。 |
| 血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ・ｅＧＦＲ | 腎臓の機能をみる。ｸﾚｱﾁﾆﾝは筋肉で作られる老廃物の一つで、腎臓を通って尿中に排泄される。数値が高いと腎臓の機能が低下していることを意味する。 |
| 尿 | 蛋白・潜血・糖 | 腎臓など尿の通り道での異常や糖尿病等の有無をみる。 |
| 心電図検査 | | 心筋が動くときに生じる弱い電流の変化を読み取り、不整脈・心筋梗塞などの異常を調べる。 |
| 聴力検査 | | ｵｰｼﾞｵﾒｰﾀｰで１，０００ﾍﾙﾂ・３０ﾃﾞｼﾍﾞﾙ、４，０００ﾍﾙﾂ・４０ﾃﾞｼﾍﾞﾙの音が聞こえるかを検査する。目安として、普段の会話は４０～６０ﾃﾞｼﾍﾞﾙ位の音の大きさである。  ３５歳を除く４０歳未満の人は会話法により検査します。 |
| 視力検査 | | ５ｍと５０ｃｍの距離での目の見え方を調べる。 |

＊健診の判定は、必要な検査をすべて受けることで総合的に行います。部分的に検査を選択して受けることはできません。

＊血圧を正確に計測するため、測定前30分間は、できるだけ喫煙・運動（階段の使用や早歩きなど）を避けてください。

（３）消化器系健診

|  |  |
| --- | --- |
| 検　査　項　目 | 検　　査　　の　　説　　明 |
| 胃検査（胃部エックス線） | バリウム（造影剤）を飲んだ後、エックス線撮影をし､がん・潰瘍・ポリープ等の有無をみる。 |
| 大腸検査（便潜血反応） | 採取した便の中のわずかな血液を検出し、ポリープ・大腸がん等を発見する。 |

＊**胃検査の対象者で受診を希望する職員は、問診票に希望の有無を記入の上、受付時にお申し出ください。また、来院健診を受診する際は、電話予約時に胃検査を受診する旨をお伝えください。**

＊**妊娠中及び妊娠の可能性のある女性職員及びバリウム製剤の過敏症（アレルギー）の方は、胃部エックス線撮影を受けることができません。詳細は、次項の【胃部エックス線検査の受検を希望する方へ】をお読みください。**

＊**大腸検査の有所見者については、各自、早めに専門医を受診してください。**

＊採便容器は、健診機関が事前に受診予定者数を確認し、学校に必要個数配布します。使用しなかった容器は、健診機関が回収し、衛生管理の観点で再利用せず破棄することがありますので、無駄がでないよう受診予定の方は必ず御提出ください。採便容器は有効期間があり、昨年配布した容器は使用できません。なお、採便容器は受診する健診機関のものを使用してください。来院専門の健診機関を受診する際は、**予約時に大腸検査を受診する旨を申し出てください。**個別に健診機関から送付されます。

【胃部エックス線検査の受検を希望する方へ】

◇検査を行う際は、はじめに発泡剤とバリウムを飲みます。検査終了までゲップはがまんしてください。

◇胃の粘膜全体にバリウムを付着させるため、撮影台の上で体を左右に動かしたり回転したり、頭部を下げるなどの指示があります。胃の病変の早期発見には良い胃エックス線写真を得ることが不可欠です。御協力をお願いします。

◇受診者の安全を考慮し、以下に示すような既往歴のある方は、問診・診察等の結果によっては、検査が受けられない場合があります。また、健診機関が書面等により既往歴を確認させていただく場合があります。詳細は、担当健診機関に御確認ください。

※持病をお持ちの方は、事前に胃部エックス線の受検について、主治医に御相談することをお勧めします。

消化管疾患：炎症性腸疾患・上部消化管疾患・手術の既往・大腸憩室・便秘・下痢

循環器疾患：虚血性心疾患・心不全・心疾患術後・ペースメーカの使用・高血圧

呼吸器疾患：喘息・呼吸器疾患（在宅酸素療法）・手術の既往

脳血管障害など：脳血管障害・頭部手術の既往・脳圧亢進でシャント中・認知症など

運動障害：麻痺・疼痛・手術の既往・椎体や靭帯などの既往・体型・体形（体位変換が困難・体重130Kg以上）

腎疾患：透析中・慢性腎疾患

糖尿病：コントロール不良・検査前のインスリンまたは経口血糖降下剤の使用

その他：誤嚥の既往・アレルギー・メニエール病・高度難聴・検査前の食事摂取及び喫煙

下記の方は、胃部エックス線検査は受けられません。

①妊娠中および妊娠していると思われる方（※授乳中の方はお問い合わせください）

②バリウム製剤に対し、過敏症（じん麻疹、息苦しさ、手足が冷たくなるなど）の既往歴のある方

③過去２か月以内に大腸ポリープを切除された方

④過去１年以内に開腹手術や整形外科の手術をされた方

⑤腸閉塞の既往がある方

⑥腎臓病（人工透析）などで水分制限を受けている方

⑦過去１年以内に心筋梗塞や脳梗塞等の疾患を発症したことのある方

⑧バリウムのコップを御自分で持ってお飲みになれない方

⑨自力で立位を保持することや、撮影台の手すりを自分でつかむことが困難な方

⑩技師の指示に従ってスムーズに動くことが困難な方

日本消化器がん検診学会胃X線検診安全基準参考

＜受診後の注意事項＞

検査終了後、実施健診機関の指示に従い、水及び配布する緩下剤等を服用してください。

＊健診当日は、水・お茶などの水分を普段より多めに摂り、繊維質の多い食事を摂ってバリウムの排せつを促すようにしてください。

＊通常は、緩下剤服用後の２～６時間で白っぽい便が出ますが、バリウムなので心配ありません。

＊バリウム服用の際に副作用で過敏症（アレルギー症状）が現れる方がいます。じん麻疹、浮腫、呼吸困難等の症状が現れた場合は、直ぐに医療機関を受診してください。また、排便の状況を確認していただき、一両日中にバリウム便の排出がなく、腹痛などの症状が現れた場合には、直ちに医療機関を受診してください。

**※　健診機関によって説明内容が異なる場合があります。御不明な点は担当の健診機関にお問い合わせください。**

**【その他の検査】**

**※対象者年齢の「当該年度末現在」には、翌年度４月１日に当該年齢の誕生日を迎える者を含みます。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検　査　項　目 | 対　　象　　者 | 受　診　方　法 |
| 前立腺がん検査 | 50歳以上（当該年度末現在）の男性職員の希望者 | 一般健康診断時に採血する血液で検査する。 |
| C型肝炎ウイルス検査 | 35歳の職員及び35歳以上（当該年度末現在）の新規採用職員のうち希望者 |

※対象者は、問診票の記入欄に希望の有無を御記入ください。

※プライバシーの保護に十分に配慮して実施し、結果は一般健診結果と併せて別封筒で通知します。本人のみに通知し、所属には通知しません。

**２　特別健康診断等**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 健 診 の 種 類 | 対　　　象　　　者 | 実　施　方　法　等 |
| 女性健診 | 女性職員で健診を希望する職員（原則として隔年実施、年齢要件等あり） | 健診機関に事前予約し、健診機関で健診を行う。  健診実施時期：６月～翌年１月  詳細は、別途配布の「女性健診ガイド」を御参照ください。 |
| 腰痛健診 | 特別支援学校に勤務し、児童・生徒介助等に従事する職員及び、重量物取り扱い作業に従事する技能Ⅱ職員（一般技能） | ※会場校及び日程については、別途周知される通知等を御参照ください(８月頃を予定)。 |
| 特定化学物質・有機溶剤等取扱業務従事者健診 | 指定の特定化学物質・有機溶剤等の取扱業務を週１回又は年１か月程度行う職員 | ＜１回目＞来院健診  ＜２回目＞一般健康診断と同時実施  詳細は、別途配布の「特定化学物質・有機溶剤等取扱業務従事者健診ガイド」を御参照ください。 |
| 情報機器作業従事者健診※ | 全職員 | 第１次健診は、一般健康診断と同時に実施します。第１次健診の内容は、① 問診（現病歴・平均作業時間・情報機器作業に伴う症状の有無等）② ５ｍ・５０ｃｍ視力検査です。問診は、「一般健康診断問診票」裏面にありますので、健診当日までに必ず御記入ください。  第１次健診の結果、第２次健診の受診が必要な方には別途通知します。第２次健診は、来院健診専門のIMS Me-Lifeクリニック東京で実施します。  また、採用時健診における情報機器作業従事者健診は、検査項目が異なり、巡回健診では受診できません。詳細は、別途配布の「採用時健診ガイド」を御参照ください。 |
| 採用時健康診断 | 当該年度、東京都に新規に採用された正規の教職員及び会計年度任用職員等 | 一般健康診断実施期間外（４月～６月、１月～２月）に来院健診で実施  詳細は、「採用時健診ガイド」を御参照ください。 |

※情報機器作業従事者健診

情報機器作業とは、事務所（事務所衛生基準規則第１条第１項に規定する事務所をいう。）において、情報機器（パソコンやタブレット端末等）を使用して、データの入力・検索・照合等、文章・画像等の作成・編集・修正等、プログラミング、監視等を行う作業をいいます。情報機器作業従事者健診は、作業者の健康状態を正しく把握し、健康障害の防止を図るための健康管理を適正に進めることを目的として実施します。

◆　**担当健診機関**　◆

**来院健診の予約は、学校所在地の担当健診機関又は来院健診専門機関のいずれかとなります。**

◎予約は必ず電話予約にて行ってください（予約等のお電話は平日の電話受付時間内に御連絡ください。）。

◎予約時に必ず都立学校教職員の一般健康診断であることをお伝えください。

◎来院健診と巡回健診を重複して受診することはできません。

◎来院健診で一般健康診断と採用時健康診断を併せて受診する場合は、IMS Me-Lifeクリニック東京で受診してください。詳細は「採用時健診ガイド」を御参照ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 学 校 所 在 地 | 担当健診機関名及び連絡先（電話受付は平日のみ） |
| 千代田・渋谷・中野・杉並・練馬区 | 三楽病院　健診係　　　　　　　　　０３－３２９２－３９８１  最寄駅　ＪＲ御茶ノ水駅　　　　　　　　（内線　５２７１）  【電話受付時間9：00～17：00】 |
| 新宿・豊島・北・荒川・板橋・足立・葛飾区 | 愛誠病院　健康管理センター　　　　０３－３９６１－５１２５  最寄駅　ＪＲ板橋駅　　　　　　　【電話受付時間9：00～16：00】 |
| 港・目黒・世田谷・江戸川区 | -クリニック板橋　　　　０３－３９６７－１５１５  最寄駅　都営三田線志村坂上駅　　【電話受付時間8：30～17：30】 |
| 中央・文京・台東・品川・大田・墨田・江東区 | 同友会　春日クリニック　　　　　　０３－５６８９－２７４１  最寄駅　都営地下鉄三田線春日駅　【電話受付時間10：00～17：00】 |
| 八王子・立川・青梅・昭島・町田・日野・福生・東大和・武蔵村山・羽村・あきる野市・西多摩郡 | 立川中央病院附属健康クリニック ０４２－５２１－３６２６  最寄駅　ＪＲ立川駅　　　　　　　【電話受付時間8：30～16：15】 |
| 武蔵野・三鷹・府中・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・国立・狛江・清瀬・東久留米・多摩・稲城・西東京市 | 多摩川病院 健診部　　　　 　　 ０４２－４９９－３２２２  最寄駅　京王線布田駅・国領駅　　【電話受付時間9：00～16：00】  　　　　　　　　　　　　　　　　※12：00～13：00の間は除く |
| ※都内全域（来院健診専門） | -クリニック東京　　　　０３－３５４８－２４５１  最寄駅　ＪＲ東京駅　　　　　　　【電話受付時間8：00～17：00】  ※内線「１」へ御連絡をお願いします。  令和6年４月より新施設へ移転しました。受診の際は御注意ください。 |
|  | -クリニック池袋　　　　０３－３９８９－１１１２  最寄駅　ＪＲ池袋駅　　　　　　　【電話受付時間8：30～17：00】 |
|  | 調布東山病院　　　　　　　　　　　０４２－４８１－５５１５  最寄駅　京王線調布駅　　　　　　【電話受付時間9：00～16：30】 |

【来院２次健診を受診する際の注意事項】

・来院２次健診の対象の方には、第１次健診結果に「一般健康診断第２次健診受診通知書」(様式３)が通知されます。内容を確認の上、予約や日程の変更が必要な場合は、早めに健診機関へ連絡してください。

・前年度の健康診断で次年度直接２次健診と指示されている場合は、学校所在地の担当健診機関で実施します。ただし、前年度に来院健診専門の健診機関を受診し、「次年度直接２次健診」と指示されている場合は、同一の健診機関で受診することが可能です。

・原則として、前年度に「次年度直接２次健診」の指示があっても、健診機関から健診日程の連絡は行いません。該当する方は、電話予約の上、受診してください。なお、巡回健診では直接２次となった項目の第１次健診は受診しませんので、受付で前年度の第２次健診の結果票を御提示ください。

・IMS Me-Lifeクリニック板橋で第１次健診を受診し、第２次健診の対象となった方及び学校所在地の担当健診機関がIMS Me-Lifeクリニック板橋で、前年度に「次年度直接２次健診」と指示された方の消化器系健診の胃内視鏡検査、組織診及び呼吸器系健診のＣＴ検査は、IMS Me-Lifeクリニック池袋で実施します。

**健康診断結果判定の見方**

|  |  |
| --- | --- |
| 異常なし | 今回の検査の範囲では異常は認められませんでした。今後も定期的に健康診断を受けてください。 |
| 要観察 | ３か月から６か月後に医療機関で検査を受け、その後の経過をみていく必要があります。  医師の診断の欄に1年以内に検査が必要と記載されている場合は、検査を受けてください。 |
| 要２次健診 | 第１次健診後おおむね１か月以内に第２次健診を受け、最終の診断を受けてください。 |
| 要医療 | 検査所見に異常があり、病気の疑いがあるので、すぐに専門の医療機関を受診してください。 |
| 要医療継続 | 引き続き治療を継続する必要があります。健診結果について担当医に御相談ください。 |

【その他の注意事項】

※　健康診断結果は、健康診断終了後、概ね２～３週間後に健診機関から学校長宛てに個別に封入された結果通知書を送付します。所属から通知を受けてください。なお、受診者用の結果通知書は、令和７年度より、結果通知書の氏名等が窓あき封筒の窓を通して判別できるよう、結果通知書ごとに個々の封筒に封入されて送付されます。

※　健康診断で使用する氏名は、原則として令和７年５月１日時点の職員情報で表記されます。年度途中で氏名が変更された場合等でも、旧姓等で表記されることがありますので、あらかじめ御了承ください。なお、届出による旧姓使用の場合は、原則として旧姓の氏名にて表示されます。

※　服務の取扱い…他校の巡回健診の受診及び来院方式による第１・２次健診受診の際は、出張（内国出張）となります。詳細は所属担当者にお問合せください。

※　健康診断結果において、重度の所見が認められる場合や感染症の疑いがある場合は、担当健診機関または東京都教職員総合健康センターから、個別に連絡する場合があります。

※　人間ドックや他で受診した健康診断を一般健康診断に代える場合は、校長へ受診結果を書面で提出してください。

※　健診機関から結果通知書を送付するほか、健診結果は、教職員健康管理システムにも掲出します（掲出時期については、別途、東京都教育庁福利厚生部福利厚生課より通知されます。）。

※ 健診機関での個人結果の再発行は行っておりません。健康診断結果は教職員健康管理システムから印刷することができます。

公益社団法人東京都教職員互助会 東京都教職員総合健康センター　０３-３２９１-６３４９　（平日８：３０～１７：００）